

特集

グローバル危機と ものづくり産業 再生への道筋

昨08年9月のリーマンショックを契機とした金融危機は、世界経済を奈落の底へ陥れた。世界的に信用不安が増幅され、金融が凍りつき、モノの流れが止まった。世界同時不況の始まりである。私たち日本のものづくり・金属産業が直面している課題とは、直下型大地震のような在庫調整と生産調整への対応であり、それに伴う雇用問題などである。中期的には環境問題対応も深刻な課題である。今回の特集では、これらのグローバルな危機や課題に対し、日本のものづくり産業を組織するIMF・JIC（金属労協）が、ものづくり立国日本の再生に向けてどのように考え、いかに取り組んでいるかその一端を紹介する。内容としては、世界的金融・経済危機の深まりとものづくり

産業への波及、そして労働組合として雇用危機にいかに対応するか。また、ものづくり産業再生をめざした地球環境保全への取り組みなどである。

ほかに、2009年4月に開催した政策セミナーにおける、茅陽氏（財地球環境産業技術研究機構副理事長）と坂本光司氏（法政大学大学院教授）の講演要旨、およびグローバル危機におけるものづくり産業再生への道筋について富山和彦氏（株）経営共創基盤CEO）のインタビュー記事を掲載した。ものづくり産業再構築に向けての議論の参考にしていただけたら幸いである。

（文責・編集）金属労協組織総務局



Illustration : しおたまこ